

今日は、ゲストティーチャーの日になった。2年生の読み聞かせ。5年生のサイエンススクール。6年生は金融教育に雅楽。たくさんの方にお世話になった▼初めての試みは雅楽。阿下喜の「楽天者」の方々6名の方にお世話になった。雅楽は、6年生が音楽で古典芸能として学ぶ。

「笙」「箏」「龍笛」「太鼓」。この4つの楽器。漢字で書くと全部読めない▼授業では、楽器の名前と音を聞かせてもらったあと、楽器を触らせてもらい、1曲演奏していただいた。日常的に聞く音や曲ではないので、音楽室は独特の雰囲気にも包まれる▼古典芸能といえば「舞」6年生には、舞姫が9名いる。3組に分かれて、これまで「秋祭り」「新嘗祭」と2組が、舞っている。その2組が、雅楽に合わせて舞ってくれることになっていた▼衣装を着て、本番さながらに「豊栄の舞」

「浦安の舞」を舞ってくれた。もう一組は、来月から練習を始めて、「春の大祭」で舞う予定▼ふと気がついたのは、真剣に物事に取り組む友だちの表情を子ども同士が見る機会というのは、実は少ないのではないかということだ。「固唾を飲んで見守る」場面とは、きっと今日のような場面をいうのではないかと思った▼我々は、子どもが真剣に物事に取り組む姿をたくさん知っているが、真剣に取り組む友だちの姿を真剣に見守る友だちの姿を見る機会は少ない。素敵な姿を見た。